
東北大学陸上競技部

OB通信

2014年No. 4 (2014. 9)

- ・ 秩父宮賜盃第 46 回全日本大学駅伝対校選手権大会東北地区予選会
兼第 32 回全日本大学女子駅伝対校選手権大会東北地区予選会
…男子優勝!!!全日本大学駅伝二年連続出場!!!
- ・ 第 36 回北日本学生陸上競技対抗選手権大会
…藤井 翼(M2)、高橋 巧実(2)の 2 名が入賞!
- ・ 第 36 回北日本学生陸上競技対抗選手権大会
…快挙!宮崎 幸辰(2)が男子 200m で 20 秒台
20”87 は大会新、部記録、岩手県新記録、
15 年ぶりとなる東北学生新記録、および北日本学生新記録
- ・ 第 36 回北日本学生陸上競技対抗選手権大会
…本間 涼介(2)、宮崎 幸辰(2)の 2 名が出場!!
- ・ 第 36 回北日本学生陸上競技対抗選手権大会

-
- ・ 秩父宮賜盃第 46 回全日本大学駅伝対校選手権大会東北地区予選会
兼第 32 回全日本大学女子駅伝対校選手権大会東北地区予選会 2～3 ページ
 - ・ 第 36 回北日本学生陸上競技対抗選手権大会 4 ページ
 - ・ 第 45 回東北陸上競技選手権大会 4 ページ
 - ・ 天皇賜盃第 83 回日本学生陸上競技対校選手権 5 ページ
 - ・ 七大戦中止 6 ページ
 - ・ 今後の予定 6 ページ
 - ・ 編集後記 6 ページ

清秋の候、会員の皆様にはますますご発展のほどお喜び申し上げます。

今号では、秩父宮賜盃第 46 回全日本大学駅伝対校選手権大会東北地区予選会兼第 32 回全日本大学女子駅伝対校選手権大会東北地区予選会の結果を中心に、各大会における選手の活躍をお伝えします。

◎秩父宮賜盃第 46 回全日本大学駅伝対校選手権大会東北地区予選会兼第 32 回全日本大学女子駅伝対校選手権大会東北地区予選会(9/20) …仙台大学…

9 月 20 日に、仙台大学陸上競技場にて全日本大学東北駅伝地区予選会が行われました。今年も天候にも恵まれ、涼しく、風のない好条件のもとで選手は走ることができました。例年通り、男子は 10000m、女子は 5000m を走り、合計タイムで競いました。

結果は、男子チームは昨年引き続き堅実に全日本への出場権を勝ち取りました。

女子チームは健闘したものの 3 位となり、全日本大学女子駅伝への出場はなりませんでした。記録と、長距離 PC からの全日本大学駅伝への抱負をお伝えします。

・男子団体戦結果

| 順位 | 大学 | 記録 |
|-----|--------|-------------------|
| 1 位 | 東北大学 | 4 時間 16 分 43 秒 21 |
| 2 位 | 岩手大学 | 4 時間 21 分 49 秒 40 |
| 3 位 | 東北学院大学 | 4 時間 27 分 46 秒 31 |

・女子団体戦結果

| 順位 | 大学 | 記録 |
|-----|--------|-------------------|
| 1 位 | 東北福祉大学 | 1 時間 43 分 16 秒 81 |
| 2 位 | 東北学院大学 | 1 時間 46 分 52 秒 97 |
| 3 位 | 東北大学 | 1 時間 52 分 35 秒 96 |

| 組 | 氏名 (学年) | 順位 | 記録 |
|-----|-----------|------|----------|
| 1 組 | 高橋 佳希(3) | 1 着 | 31'05"97 |
| | 藤澤 萌人(M1) | 2 着 | 31'48"36 |
| | 菅野 均(M2) | 4 着 | 32'07"47 |
| | 鈴木 貴史(2) | 6 着 | 32'16"57 |
| 2 組 | 本間 涼介(2) | 1 着 | 31'45"67 |
| | 尾形 翔平(M2) | 4 着 | 32'04"29 |
| | 石代 剛之(M2) | 7 着 | 32'37"47 |
| | 古澤 哲平(M1) | 10 着 | 32'57"41 |

| 組 | 氏名 (学年) | 順位 | 記録 |
|-----|-----------|------|----------|
| 1 組 | 榊原 真璃子(3) | 9 着 | 18'41"78 |
| | 塩谷 美菜子(3) | 11 着 | 18'55"46 |
| | 梶山 あずさ(3) | 12 着 | 19'18"82 |
| 2 組 | 鈴木 絢子(4) | 4 着 | 17'24"58 |
| | 宮間 志帆(3) | 12 着 | 18'55"03 |
| | 小高 真依(M2) | 14 着 | 19'20"29 |



▲集団で走る一組目の選手



▲女子チームの集合写真

〈全日本大学駅伝の抱負〉

こんにちは、長距離パートキャプテンの碓井です。

先日の予選会では、時間が遅いにもかかわらず私たち長距離チームのために色々ご協力いただきありがとうございます。予選会当日以外でも多くの方にご支援していただけたことにとっても感謝しております。

今年の予選会では自分たちの考えた作戦の通り、もしくはそれ以上の走りができ、結果として昨年に引き続き予選会を突破することが出来ました。長い距離を走りこんだ夏合宿を経て、少しずつチームが強くなってきたなと思っています。予選会に関してはよかった面が多かったわけですが、全国のレベルはこんなものではありません。本選では周り自分より速い人が大多数。その中で自分の走りをするために大切だと思うのが、自分たちは今までこれだけ練習してきたのだという「自信」だと私は考えます。その「自信」を持って当日を迎えるために、残りの時間で出来る限りのことをします。

全日本に出ることができて良かったというところで終わるのでは意味がなく、全日本で全力で勝負してきたと終わった後に皆で思えるよう、ここからまた意識を高く持ち、昨年達成出来なかった東北大記録に挑戦していく所存です。

また、今年の朝日新聞社からの強化費が5年前より35万円減額された昨年と同じで、かつ部員数の増加もあって金銭的には大変厳しい状況となっています。大変恐縮ではございますが、OB・OGの皆様のご支援をお願い致します。そして今年も、現地での試走や下見を行う際には三秀会東海支部の方々のご協力をお願いする予定です。お忙しい中大変申し訳ございませんが、宜しくお願い致します。

本戦のほうでも多くの方々のご期待にお応えできるようチーム一丸となって精一杯戦ってまいりますので、ご協力宜しくお願い致します。

東北大学学友会陸上競技部長距離パートキャプテン 3年 碓井 将也

◎第 36 回北日本学生陸上競技対抗選手権大会(8/12~13)・・・スワンスタジアム (新潟) ・・・

8月12~13日、新潟県のスワンスタジアムにおいて北日本インカレが行われました。我が校からもたくさんの選手が出場しました。入賞した選手を紹介します。

| 種目 | 氏名 (学年) | 順位 | 記録 |
|--------|----------|----|-------|
| 男子棒高跳び | 高橋 拓実(2) | 2位 | 4m80 |
| 男子十種競技 | 藤井 翼(M2) | 4位 | 5528点 |

◎第 45 回東北陸上競技選手権大会(8/30~31)・・・とうほう・みんなのスタジアム (福島) ・・・

8月30~31日、福島県のとうほう・みんなのスタジアムにおいて東北選手権が行われました。この大会において宮崎幸辰(2)は男子200mで大会新、部記録、岩手県新記録、15年ぶりとなる東北学生新記録、および北日本学生新記録を更新しました。入賞した選手を紹介します。



▲表彰台に登る宮崎(2)

| 種目 | 氏名 (学年) | 順位 | 記録 |
|------------|---|----|--------------|
| 男子 200m | 宮崎 幸辰(2) | 1位 | ★20"87(+0.5) |
| 男子 400mH | 千葉 優人(4) | 6位 | 54"56 |
| 男子 3000mSC | 菅野 均(M2) | 5位 | 9'32"28 |
| 男子 4×400m | 阿部耕大(2) 佐藤洋介(3) 畑岡進(4) 菅原大志(3) | 6位 | 3'17"53 |
| 男子走高跳 | 山田 健太郎(4) | 2位 | 2m00 |
| 女子三段跳 | 渡邊 朝美(2) | 7位 | 10m95(+1.2) |

◎天皇賜盃第 83 回日本学生陸上競技対校選手権 (9/5~7)

・熊谷スポーツ文化公園陸上競技場 (埼玉) ・

9月5~7日、埼玉県熊谷スポーツ文化公園陸上競技場において全日本インカレが行われました。全国から地区予選を勝ち抜いた選手や標準記録を突破した選手といった強豪が集う中、我が校からも2名の選手が出場しました。レースの結果と選手の感想を紹介します

男子 200m

・宮崎 幸辰 (2)

予選 4組 4着 21"30 (-1.0)

準決勝 1組 7着 21"63 (-0.1)

〈選手の言葉〉

敗因は調整ミス、ただそれだけでした。前の週にあったミニ国体で、20秒台を出せたことで、全国の選手と同等に戦うことができ力を手にできました。しかし、福島から中二日で熊谷へ移動して、試合に臨むというのは無謀でした。予想以上に、ミニ国体の疲労が取れず、いつも通りの力を全く発揮できませんでした。初めての日本ICは、準決勝落ちという後悔が残る結果となりましたが、自分の実力が全国でどのくらいのレベルであるのかを認識することができ、いい経験になったと思います。

20秒台とICの敗北は、自分の世界観が大きく変わるものとなりました。来年を自分の集大成のシーズンとして、日本ICの200に全てを懸けます。狙うのは、優勝です。

今回のICでは、多くの方から応援して頂いたにも関わらず不甲斐ない結果に終わってしまって、本当に申し訳ありませんでした。今後も応援をよろしくお願いします。ありがとうございました。

男子 5000m

・本間 涼介 (2)

決勝 32着 32'33"70

〈選手の言葉〉

今回の日本インカレでは10000mを走らせていただきました。スタートリストを見ると関東の強豪校の選手が大半を占め、果たして自分の実力で勝負ができるのかという不安に駆られました。しかし、あのような選手たちとトラックでレースできるという機会は滅多にないことです。できる限り先頭についていき、自分の実力がどれくらい通用するか試すようなレースを意識しました。レースは序盤から非常に速いペースで入り、1km通過の地点で既に先頭と50m近く遅れをとってしまいました。しかしこれでも自分にとっては非常にハイペースであり、3km通過以降は完全にペースが落ちてしまい、32分半を超えるタイムでフィニッシュしました。序盤のハイペースで後半思うように走れなかったことが反省点ですが、後悔はしていません。全国の舞台で戦うにはあのペースが楽に感じるくらいでなければいけないのです。そのことを身をもって経験できました。11月には全日本大学駅伝に出場します。あまり時間はありませんが、今回の貴重な経験をもとに力をつけていきたいと思います。最後になりましたがご支援ありがとうございました。

◎七大戦の中止について

今年の七大戦は台風 11 号の接近により、中止となりました。

非常に残念ではありますが、各方面の安全を配慮した結果ですので、ご理解頂きたく存じます。

応援に来てくださった方々は大変申し訳ございませんでした。

来年の七大戦は仙台での開催となります。東北大学陸上競技部一同精一杯盛り上げてまいりますので、応援のほどよろしくお願い申し上げます。

◎今後の予定

| | | |
|------------|-----------|----------------------|
| ・10月3~5日 | 個人戦 | 宮城野原陸上競技場(仙台市) |
| ・10月24~26日 | 二十四大戦 | 栃木県総合運動公園陸上競技場(宇都宮市) |
| ・10月18日 | OB・OG戦 | 評定河原陸上競技場(仙台市) |
| ・10月26日 | 全日本大学女子駅伝 | 仙台市内 |
| ・11月2日 | 全日本大学駅伝 | 熱田~伊勢 |

◎編集後記

東北学生新記録、北日本学生新記録の更新や全日本大学駅伝への出場権の獲得など素晴らしい結果を報告できることに喜びを感じるとともに、そんな結果を残した選手に負けないよう頑張らねばと焦りも感じます。今年の七大戦は残念なことに中止になってしまいましたが、10月以降もたくさんの大会があります。選手として精進することはもちろんですが、一年間OB・OG通信を通してしっかり部の活躍をお伝えしていきたいと思っております。拙い文章ですがどうか一年間お付き合いのほどよろしくお願い致します。今後とも、ご支援、ご声援のほど、どうぞよろしくお願い致します。

文責 副務 出口武志

東北大学陸上競技部三秀会

〒980-0815 仙台市青葉区花壇2-1

東北大学評定河原グラウンド内

hukumu_tohoku_ob2sin@yahoo.co.jp